



園 だ よ り

令和6年 3月号 認定こども園 長者幼稚園
Tel 45-1941 fax 45-1943
ホームページ<http://choja-youchien.com/>



2024/2/29日発行



ダーウィンが来た!!



園長 田村 元

暖冬と言われていた矢先に寒波の到来で思いがけない大雪となりました。大人にとっては雪道の運転のことなどを考えると非常事態でしたが、こども達は園庭一面の雪に「早く遊びたい」と、目を輝かせていました。あっという間に3月を迎えますが、この時期は、こども達は確実に成長しているという実感と、こども達の成長にどれだけ貢献できたのだろうかという思いが交錯する時期でもあります。この3月に卒園する子は21名、進級する子は41名。年度末にはどの子も次のステップで大きく羽ばたいてほしいと願っています。

さて、最近、『ダーウィンが来た』が面白くなってきました。NHKで日曜日夜7時30分から放映されている番組です。2月25日の放送は、幼虫から蝶へと大変身する際のさなぎの内部の透視映像化に世界で初めて成功したものでした。長者幼稚園でもアゲハ蝶のさなぎやかぶと虫の幼虫を飼育、観察していますので、私は大変興味をもって番組を見ました。幼虫が成虫へと変わる時には、一度さなぎの中で体がドロドロに溶けて、蝶に変身するといわれていたからです。その考えがどうやら覆りそうな内容でした。幼虫はさなぎになっておよそ9日間で蝶になります。最新のマイクロCTでその過程を追跡すると、精巧な器官が次々と作られる様子がスキャンできたのです。さなぎになって0日目はまだ幼虫の体でした。ところが まるで予想もしなかったことが起こりました。なんと3日後には、幼虫にはなかった長い触覚と、脚、花の蜜を吸うためのストローのような長い口ができていました。さらに脳の周りに目もできていて、ずいぶん大きくなっていきます。どうやら、虫の体で使えるところはそのまま残して成虫だけに必要な器官間を新たに付け加えていくようなのです。6日目には筋肉を覆うように大きな羽が現れました！このことから、番組では、幼虫はさなぎの中でドロドロに溶けて蝶になるのではないと結論づけしていました。

昆虫や植物など、日常のふとしたことから学びが深まることがたくさんあります。私は「科学する心」といっていますが、素朴な自然への興味や関心は、私たちの「学びへ向かう力」の源となります。園でかぶと虫の幼虫を飼って3年目となります。また、今年にくわがた虫の幼虫も寄贈していただきました。こども達が豊かな感性を発揮して、自然とたっぴりと関わることを今から楽しみにしています。

NHK プラスで配信

<https://plus.nhk.jp/>



NHKプラスのサイト



